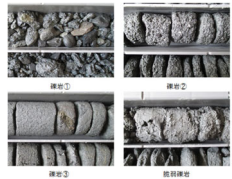
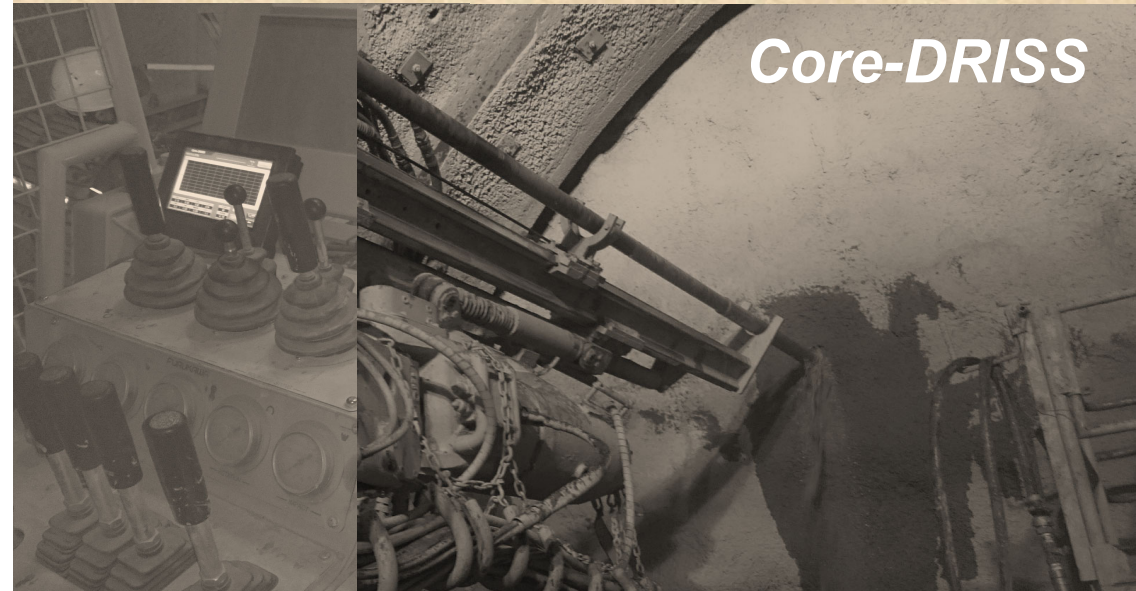
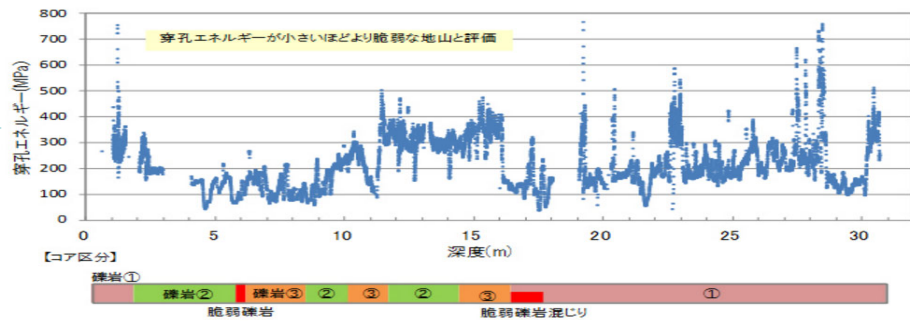


● 解析結果例



- : 礫岩①    ■ : 礫岩②
- : 礫岩③    ■ : 脆弱礫岩



Geo-Machine Engineering Corporation

**GM** ジオマシンエンジニアリング株式会社

Engineering 本社 (東京) 技術開発センター (茨城)  
TEL 029-875-6007 FAX 029-875-6105

お問い合わせ先はこちら

Geo-Machine Engineering Corporation

# ドリルジャンボによる水平コアボーリングが可能に。すばやくコア抜きができます。

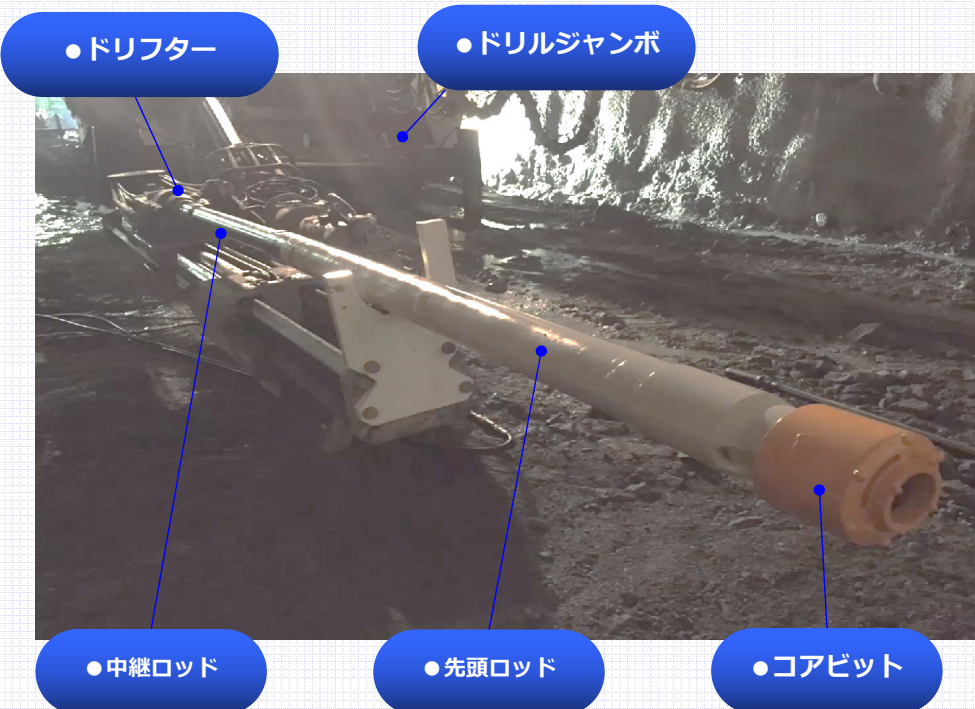
## Core-DRISSとは

Core-DRISS（コアドリス）とは、山岳トンネルの汎用掘削機械であるドリルジャンボを用いて切羽前方の地山試料を迅速かつ連続的に回収可能なコアボーリングシステムです。

山岳トンネルの掘削時において、切羽前方の地山性状を把握するための手法の一つにコアボーリング調査があります。この手法では、専用のボーリング機を使用して回転削孔によるコアボーリングを行うのが一般的です。しかしながら、この方法では実施毎に切羽に仮設備を設置する必要があり、さらにボーリング作業（削孔作業）にも長時間を要する等の問題がありました。そのため、その実施に際しては、トンネル掘削工程への多大な影響が避けられません。

本手法では、施工機械のドリルジャンボに搭載されている回転打撃式の削岩機を使用することにより、切羽前方 30m 程度までのコアボーリングを迅速に行うことが可能となりました。

## ○ ドリルジャンボへの装着状態



## ●こんな場所で施工できます



### ●トンネル上半（上部）



### ●トンネル下半



## ●Core-DRISSの特長

### ①施工性の向上



トンネル掘削で使用されるドリルジャンボを使用することができ、専用の削孔機を必要としません。

### ②工程・コスト



回転打撃による高速削孔に加えてワイヤーライン工法による連続的なコア回収が可能であり、従来の回転式のコアボーリングと比較して 50%程度 の大幅な工程短縮と 25%程度のコスト削減が見込まれます。

### ③適用性



ドリルジャンボの使用により、切羽周辺・前方のあらゆる方向へのコアボーリングが可能です。また、2~3か所のボーリングを同時に行うこともできます。

### ④精度向上



削孔状況はデータ化され、収集されたコアと比較することにより、詳細な調査が可能となります。